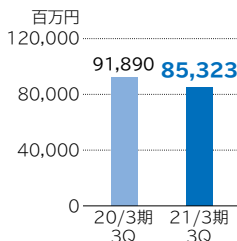


## 印刷材・産業工材関連

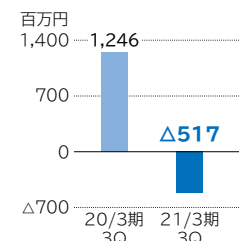
売上高 **853億23**百万円 (7.1%減)

営業利益 **△5億17**百万円 (ー)

### 売上高



### 営業利益



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

**印刷・情報材事業部門** 売上高 **628億20**百万円 (4.1%減)

#### 主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム

シール・ラベル用粘着製品は、国内では食品や通販関連は堅調に推移し、自動車関連は第3四半期以降回復したものの、化粧品関連を中心にさまざまな分野でラベル需要が減少したことにより低調に推移しました。海外においては、米国では前年同期並みとなりましたが、中国やアセアン地域は低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



**産業工材事業部門** 売上高 **225億2**百万円 (14.7%減)

#### 主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 内装用化粧フィルム
- 屋外看板・広告用フィルム

二輪を含む自動車用粘着製品やウィンドーフィルムは、第3四半期以降需要が回復しましたが、期前半の落ち込みをカバーするまでには至らず大幅に減少しました。また、各種イベントの中止などに伴い、装飾関連フィルムの需要が低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



※ セグメント別の営業利益は、セグメント間取引消去前の数値に基づいています。

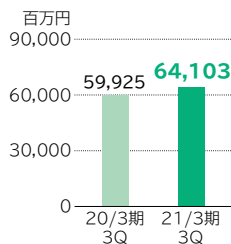
※ ( )内は前年同期比

## 電子・光学関連

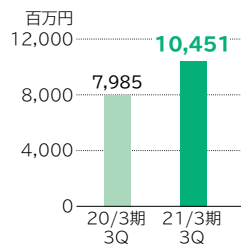
売上高 **641億 3百万円** (7.0%増)

営業利益 **104億 51百万円** (30.9%増)

### 売上高



### 営業利益



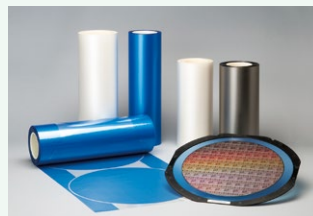
当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

**アドバンスマテリアルズ事業部門** 売上高 **397億23百万円** (19.0%増)

#### 主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ

5G関連やパソコン、スマートフォンなどの需要増加により、半導体関連粘着テープおよび関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープともに好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



**オプティカル材事業部門** 売上高 **243億80百万円** (8.2%減)

#### 主要製品

- 偏光・位相差フィルム／粘着加工
- 偏光フィルム／表面加工

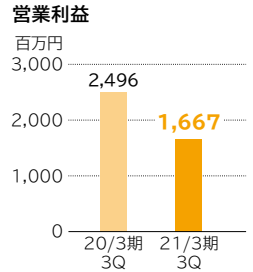
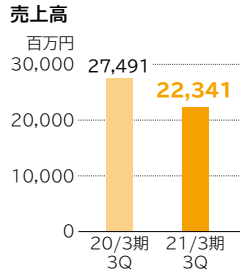
光学ディスプレイ関連粘着製品は、第3四半期に入り大型テレビ用やスマートフォン用などの需要が回復しましたが、期前半の落ち込みをカバーするには至りませんでした。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



## 洋紙・加工材関連

売上高 **223億41** 百万円 (18.7%減)

営業利益 **16億67** 百万円 (33.2%減)



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

**洋紙事業部門** 売上高 **104億44** 百万円 (16.5%減)

### 主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 高級紙製品用紙

主力のカラー封筒用紙をはじめ、色画用紙や耐油耐水紙など、全般的に需要低迷の影響を受けて低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



**加工材事業部門** 売上高 **118億96** 百万円 (20.6%減)

### 主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙

合成皮革用工程紙は第3四半期に入り自動車用で需要の回復が見られましたが、航空機用などの炭素繊維複合材料用工程紙や一般粘着製品用剥離紙が需要低迷の影響を大きく受けました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



### 売上高構成



### 営業利益構成



# 株式情報 (2020年12月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式4,338,966株を除く)	72,291,774株
単元株式数	100株
株主数	6,258人

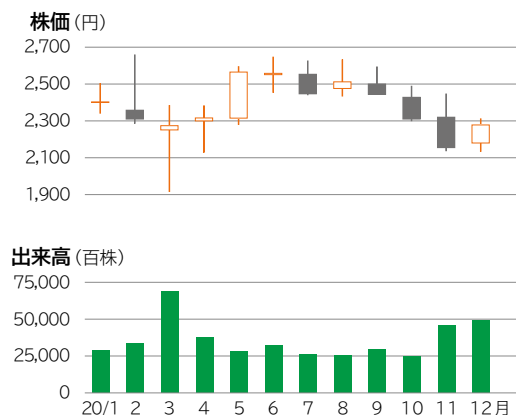
## 大株主の状況 (上位10人)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	21,737	30.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,729	6.54
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,224	5.84
全国共済農業協同組合連合会	2,625	3.63
庄司 たみ江	1,796	2.48
塩飽 恵以子	1,543	2.13
株式会社かんぼ生命保険	1,415	1.95
リンテック従業員持株会	1,085	1.50
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	896	1.23
JP MORGAN CHASE BANK 385781	828	1.14

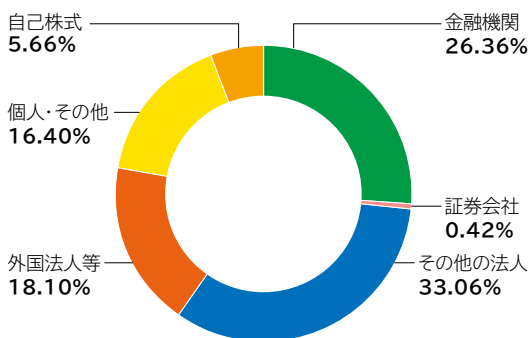
注1. 当社は自己株式4,338,966株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

## 株価および出来高の推移 (2020年1月~2020年12月)



## 所有者別分布比率



## 会社概要 (2020年12月31日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社	東京都板橋区本町23-23
設立	1934年10月15日
資本金	232億8,531万5,161円
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 4,948人 単体: 2,584人 (2020年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居・新居浜(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県) 海外事務所: ハノイ(ベトナム)
連結子会社	国内: 3社 海外: 38社

## 株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	<a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou">www.tr.mufg.jp/daikou</a>

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 法定公告掲載ホームページアドレス

[www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html](http://www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html)



● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23  
URL [www.lintec.co.jp](http://www.lintec.co.jp)

### IRメール配信サービスのお知らせ



当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、下記の当社株主・投資家情報サイトよりご登録をお願いいたします。

[www.lintec.co.jp/ir](http://www.lintec.co.jp/ir)



※スマートフォンなどで上記の二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウエーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

発行 広報・IR室 2021年3月  
TEL. (03) 5248-7741  
FAX. (03) 5248-7754